サイエンス夢追い人育成プロジェクト
（女子大学院生による出前講義）

発展型研究室見学会を実施

平成２４年7月２３日（月）に、発展型研究室見学会を実施し、長良高等学校2年生の理系を選択している女子生徒25名の参加がありました。

研究室見学会では、応用生物科学部 生産環境科学課程 動物遺伝学研究室の松村秀一准教授、応用生物科学部 応用生命科学課程 生物有機化学研究室の柳瀬笑子准教授、教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育講座（生物学）の三宅崇准教授から、それぞれの研究室で行われている研究についてお話しいただきました。その後、女子大学院生が、普段使用している機械やデータを見せながら、自身の取り組む研究について紹介しました。

研究室見学の後、女子大学院生と女子高校生との交流会を開催し、６名の女子大学院生が、進路や受験勉強、大学生活などに関する高校生からの質問に答えました。

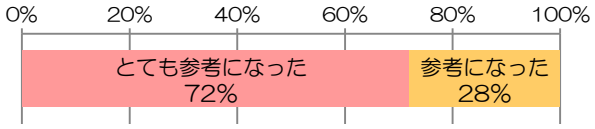
＜参加女子大学院生＞

吉﨑友紀さん　（連合農学研究科博士課程2年）
権田彩さん　（応用生物科学研究科修士課程2年）
小森麻弥さん　（応用生物科学研究科修士課程2年）
増田温子さん　（応用生物科学研究科修士課程2年）
榊原朱乃さん　（応用生物科学研究科修士課程1年）
本田薫さん　（教育学研究科修士課程２年）

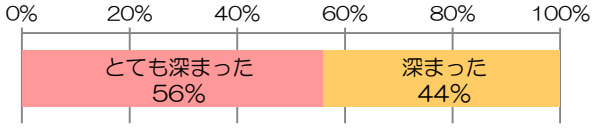
本プログラムは、女子大学院生による出前講義を聞き科学や研究に興味、関心を持った生徒に対し、実際の研究室の様子を見学する機会を提供することで、抱いた興味、関心を一層深めてもらうことを目的としています。また、サポーターとして参加する女子大学院生にとっては、専門知識を持たない生徒に対し研究などについてわかりやすく説明することで、コミュニケーションスキルの向上が期待されます。

アンケート結果

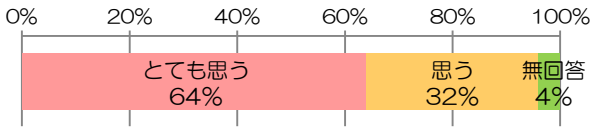
Q. 今後の進路を考える際の参考になりましたか？



Q. 科学や研究に対する興味、関心が一層深まりましたか？



Q. 今後も機会があればこのような見学会（オープンキャンパス等）に参加したいと思いますか？



自由記述（抜粋）

- 自分の希望進路以外でも自分の興味のある分野があって、研究は難しそうだけど、おもしろそうだと思いました。
- 自分の研究したいテーマについて研究できるということが分かったし、実際に研究室を見学したり、大学院生の話を聞いたりすることで、大学のイメージをつかむことができました。
- 私も研究してみたいと思った。
- 自分のやりたいこと、目指すことについて、考えられる機会があったし、岐阜大学の学生さんを見て、楽しそうだと思った。
- 自分で思っていたよりも、実験が楽しそうだったし、大学生活について前より知れたので良かったです。
- 自分も応生に行きたいなと強く思った。またオープンキャンパスへ行きたいと思った。
- たくさんの学部を見学させてもらって、視野が広がりました。また、研究室を初めて見せてもらえて、普通だと見れない器具とかを見れたから、良い体験になりました。
- 研究室内での学生の感じや、雰囲気が分かって良かったです。
- 学部の説明だけじゃなくて、大学生活についてとか、魅力とか、大変なこととか、自分が進みたい学部以外の事も知れてよかったです。ありがとうございました。